



血液検査 5cc程 で手軽にできる胃がんのリスク検査

胃がんABC検診

- 胃がんABC検診は、血液検査のみで胃がんになりやすいかどうかを調べる検査です。
- バリウムを飲まずに血液検査だけで手軽に胃がんのリスクを効果的に検査できる方法です。

2つの血液検査

胃がんリスクをABCD群に分類



		ヘリコバクター・ピロリ抗体検査	
		陰性	陽性
ペプシノゲン検査	陰性	Aタイプ	Bタイプ
	陽性	Dタイプ	Cタイプ

Aタイプ
正常な胃です
胃がんにかかりにくい状態です。

Bタイプ
胃がん発生リスクがやや高いです
正常な胃にピロリ菌が感染している状態です。胃内視鏡検査をおすすめします。

Cタイプ
胃がん発生リスクが高いです
胃が少し萎縮している状態です。胃内視鏡検査をおすすめします。

Dタイプ
胃がん発生リスクがかなり高いです
胃粘膜の萎縮が進み、ピロリ菌が胃に棲息できなくなっている状態です。胃内視鏡検査をおすすめします。

要 胃 内 視 鏡 検 査

検査間隔のめやす **5年に1回**

2~3年に1回

1年に1回

ペプシノゲン検査とは
「ペプシノゲン」は胃の消化酵素ペプシンの元になるもので、ペプシノゲンⅠとⅡの2種類があります。これらの血中濃度の比較により、胃粘膜の萎縮（老化）の程度を予測することができます。

ヘリコバクター・ピロリ抗体検査とは
胃がヘリコバクター・ピロリ菌に感染していないかを調べる検査です。ピロリ菌は、胃粘膜にダメージを与え、様々な病気のひきがねになると考えられています。

【報告書】

- 約2週間以内に検査結果報告書をお送り致します。
- このABC検診では判定結果によって、内視鏡検査を受診すべき適切な間隔が設定されています。
- 判定結果がB・C・D群の方は胃がんハイリスク群に分類されますので、精密検査として胃内視鏡検査をお勧めいたします。
※内視鏡検査は保険診療となります。
- 医師の説明をよく聞き、定期的な検診を心がけましょう。

検査料金 (自費) **3,000円** 税込

以下の場合には、正しい結果が得られない可能性があります。

- 明らかな上部消化器症状のある方
- 食道、胃、十二指腸疾患で治療中の方
- 胃酸分泌抑制薬（タケプロン、パリエット、オメプラール等）を服用中又は2ヶ月以内に服用していた方
- 胃切除等の外科的手術を受けた方
- ピロリ菌の除菌治療を受けた方
- 腎不全の方（※クレアチニン3mg/dll以上）